

ナース coco さぼ通信

Vol. 3 (3回/年) 2014年度
公益社団法人滋賀県看護協会



看護協会の「看護職のこころのサポート」相談事業より、2人のリエゾンナースがcocoさぼ通信をお送りしています。



雪が舞い散る寒さの中にも、新しい春を迎えるソワソワふわふわ感が膨らむ頃となりました。「余命宣告」のテーマの話で「ちゃんと季節を楽しんできた気がしないから、1年はほしい」と言った方がいました。

別れと出会い、新しい環境や人、さまざまな変化が起こるこの時期は、花粉症におののくだけではなく、精神的な反応も大いに起こるのですが、それも含みの春パワー。ぽかぽかな陽射しに包まれ、スタートダッシュ感一杯の人、春の花々、小さな生き物たち、季節のスタートを感じる時間作りたいですね。



プン、イライラ、ちょっと疲れた表情の朱子さん。「師長さんが、何もわかってくれないんです！毎日忙しくて業務に追われて、みんな疲れてるんです。だから、あちこちでインシデントが起きて、なのにあれこれ聞いてきて、解決してくれるならいいですよ、でも上の人の機嫌を伺っているだけだから、あなた達のせいで苦労するとか、ひどくないですか！」

朱子さん8年目かあ、前にも同じような話を聞いたような・・・。「ええ、前の師長の時も話にきました。ほんと上司に恵まれないんです。それで、これからのこと考えようと思ってきたんです」

朱子さんにとって<理想の上司>はどんな人？「困っているときは一緒に考えてくれて、任せるときは任せて、それでいて必要なときは正しい判断ができる人」

なるほどー。それで朱子さんにとって<理想の部下>はどんな人？「なんでも言うこと聞いて文句を言わない人じゃないですか?! 師長さん、そういうスタッフだと機嫌良さそうにしているから！」

ふーん、なるほど。朱子さんもそういう部下がいてくれるといい？「・・・まあ、そうですね。でも、そういう人たちだって裏では師長の悪口言っているんですよ！」

はあ、で、朱子さんが師長になったとして、どんな部下がいい？「・・・サポートしてくれる人でしょうね」

「相手の欠けた部分」に目が惹きつけられてしまうのは、私たちの持っている<もの見方の癖>のひとつです。自分が描く<あるべき基準>をあてはめるから「欠けた部分」がある。これは他人に対してだけではなく自分の「欠けた部分」にもあてはまります。よって、「私の欠けた部分を満たしたい」承認欲求を満たしてくれる人は好き、満たしてくれない人は嫌いという感情が起こります。

さて、朱子さんは5つの選択肢を持っているけど、どれにする？

- ① 理想の上司を求める旅に出る
- ② 理想の部下になってみる
- ③ 自分が理想の上司になる
- ④ 上司の承認ではなく、「患者・家族にとってどうか」を考えて仕事する自分を、自分で承認する
- ⑤ このままにいる



しばらく考えていた朱子さん、「3回目の面談にきたら、またお願いします」と帰って行きました。

精神的な症状があるなしにかかわらず、「考えがどうどうめぐりになって決められない」「気持ちを落ち着けて心の整理がしたい」という方にもご利用していただいています。師長さんもプリセプターさんも新人さんも、気軽に話に来て下さいね。待っています↓↓

看護職員こころの相談 お問い合わせ・予約

☎ : 077-564-9494 Email : shiga@nurse-center.net

来所相談・電話相談 (予約制)

相談日 : 木曜 9:30 ~ 12:30 13:30 ~ 16:00 秘密厳守します

